

名古屋市医師会 港区在宅医療・介護連携支援センターニュース

Vol.16 平成30年3月1日発行



劇団「でこぼこ座」解散式

2月6日(火)、美術担当を含め、10名の劇団員の方にご参加いただき、劇団「でこぼこ座」の最終ミーティングを行いました。ミーティングでは、初回公演の上映会を行い、劇団員の初々しい演技を見ながら「演技も上手になったね」とお互いに努力をねぎらう様子が見られました。劇団員

より、1年間の感想を伺ったところ、「今後も演技を続けていきたい」「在宅医療への関心をもつことが出来た」などの声を聞くことができました。ミーティングの最後には、劇団員への最後の依頼があり、3月末までの活動延長が決定しました！最後の公演も楽しみです。

多職種研修会「糖尿病について」を開催

多職種研修会「かかりやすい病気シリーズ」の最終回を、2月8日(木)中部ろうさい病院にて開催しました。今回は、「高齢化社会に向けての糖尿病対策」と題して、中部ろうさい病院 副院長の河村孝彦先生にご講演いただきました。

当日は、医療・介護関係者45名にご参加いただき、「低血糖かシックデイで判断を迷う場合どのようにすべきか?」、「内服について、食前・食後の管理をどのようにすべきか?」など、現場の皆様からのご質問が多く寄せられました。



第2回「在宅医療・介護連携会議」を開催

2月22日(木)「第2回港区在宅医療・介護連携会議」を開催し、各関係機関からの事業報告を始め、地域課題についての話し合いが行われました。港区の地域課題として、介入拒否や独居、孤立化などが挙げられました。来年度は、このような地域課題に対して、課題解決に向けた協議を行っていきたいと思います。また、連携会議として制作を進めてきた「訪問看護ステーション一覧パンフレット」については、最終調整後に各関係機関に配布を予定しておりますので、今後の医療・介護連携に活かして頂ければ幸いです。

